



優れた、より良い福祉コミュニティーをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば

社協広報

第38号

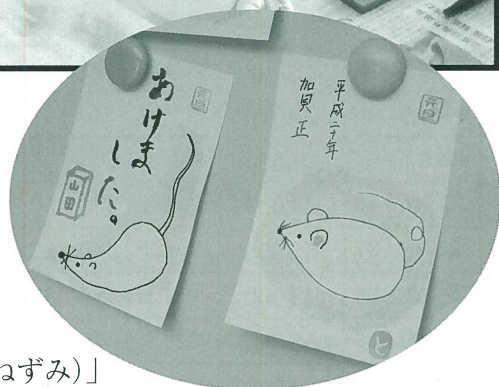


【写真】 生きがいデイサービス「絵手紙づくり」から
(12月4日撮影)

「なかなかの出来ばえに満足、満足!!」

— 絵手紙に「ハマッて」しまいました —

12月最初の「ぼほねっと」の日、皆さんで来年の干支「子（ねずみ）」を題材にした絵手紙を作りました。「手がふるえる～」と不安な声が飛びかう中、講師の方のご指導のもと、描き上げると「あら不思議」。一枚一枚に味のある絵手紙の完成です。今年もあとわずか。来年もよろしくお願いたします。



- 平成19年度共同募金運動の実施結果 1
- 災害にも強い地域づくりを目指して 2
- まほろばトピックス～よもやま話～ 3～6
- 災害時の福祉救援と共助活動 7



あたたかな善意、ありがとうございます



平成19年度／赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動の実施結果

平成19年度／赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動を、10月1日から10月31日にかけて実施したところ、下表のような実績となり、全額を長野県共同募金会へ送金しました。この募金は、その一部が平成20年度において、配分金として村社会福祉協議会へ交付され、各種福祉事業に充てられることとなっています。

平成19年12月6日送金（単位：円）

上大池	中大池	小坂	下大池	上竹田	下竹田	募金総額
247,000	171,500	411,500	196,500	473,000	525,000	
職域		山形小学校		店頭募金（48店舗）		2,089,979
4,483		20,079		40,917		

平成19年度／山形村社会福祉協議会会費納入結果

平成19年度の山形村社会福祉協議会普通会費納入につきましては、本年度も大勢の会員の皆様からご協力をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。地域福祉活動推進のために有効に活用させていただきます。

■山形村社会福祉協議会／普通会員会費（1口／1,500円 平成19年12月6日現在）（単位：円）

連絡名	件数	金額	連絡名	件数	金額	連絡名	件数	金額	連絡名	件数	金額	連絡名	件数	金額
豆沢南	17	25,500	橋爪西	11	16,500	青葉台	7	10,500	中原町	32	48,000	竹田原	19	28,500
豆沢北	17	25,500	橋爪東	47	70,500	本郷東	38	57,000	新町	25	37,500	三夜塚	34	51,000
青木沢南	16	24,000	下大池下村	21	31,500	南原	2	3,000	小坂台	27	40,500	南竹原	26	39,000
青木沢中	4	6,000	中央通	44	66,000	西原	—	—	下中原	14	21,000	新星	10	15,000
青木沢北	19	28,500	城ヶ沢	19	28,500	四ッ谷中	11	16,500	第一	25	37,500	若葉	12	18,000
中耕地西	16	24,000	西沖	33	49,500	本郷北	9	13,500	美の里ヶ丘	19	28,500	野尻東	14	21,000
中耕地東	19	28,500	唐沢下	30	45,000	山口	23	34,500	唐沢上	17	25,500	野尻西	21	31,500
久保	16	24,000	四ッ谷上	35	52,500	大日	16	24,000	神明	37	55,500	清水高原	4	6,000
堤南	37	55,500	四ッ谷下	38	57,000	日向	27	40,500	荒川	33	49,500	梨の木	20	30,000
堤北	28	42,000	原村上	25	37,500	堂村上	17	25,500	上手村	26	39,000			
澁の内	39	58,500	原村東	17	25,500	堂村下	11	16,500	西下	17	25,500			
上手西	20	30,000	宮村	28	42,000	清水	12	18,000	北村	19	28,500			
上手東	17	25,500	殿村	28	42,000	本殿上	21	31,500	南中	32	48,000			
野際	26	39,000	中耕地	27	40,500	本殿下	15	22,500	北中	21	31,500			
中大池中村	39	58,500	上竹田中村	34	51,000	東殿	15	22,500	南堀	34	51,000			
中大池下村	28	42,000	御判形	44	66,000	上北沖	18	27,000	北堀	20	30,000			
下村東	28	42,000	下本郷	49	73,500	中北沖	23	34,500	竹原	32	48,000			
野際東	11	16,500	新和	23	34,500	下北沖	41	61,500	原町	29	43,500			
仲町	27	40,500	四ッ谷西	14	21,000	上中原	26	39,000	北竹原	20	30,000			

災害にも強い地域づくりを目指して

— 勉強会開かれる —



講師の桑原英文氏

11月19日、デイサービスセンターいちいの里デイルームにおいて、「防災マニュアル」作成に関する、理事・地域福祉推進委員・職員向けの勉強会が開催されました。講師に桑原英文氏をお迎えし、「災害現場から、日頃の社協活動を問う」をテーマに災害にも強い地域づくりの意義とポイントについて講演していただきました。

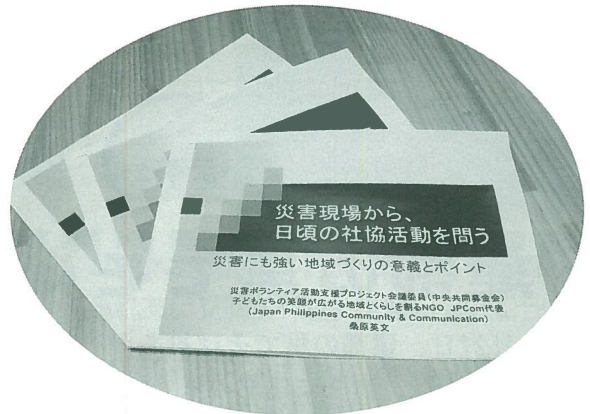
講演のなかで桑原氏は、「災害や緊急事態が無くても『ありがとう』を交わし合える関係、もしや災害や緊急事態が起こっても支え合いによって『いのち』と『くらし』が守られる関係が災害にも強い地域づくりのポイントになる」と指摘されました。

また、過去の災害の経験から、日常の『つながり』力によって、以下の結果が生まれることなども指摘していただきました。

- たった一人の命を救える
- 救えるはずのもう一人の命を力を合わせて救える
- もしまた災害に見舞われてもまた一人を失う悲劇を繰り返さない

「被災したとき、普段からやっていないことは簡単にはできない」

これは、桑原氏が今回繰り返し話された言葉です。被災住民からは「足がすくんで何もできなかった」、「先に避難した人がたくさんいて、遅れた私は寝る場所もない。譲ってもらえない」との声があり、被災地の社会福祉協議会からは「わが町の住民が困っているのに、声を拾えない。助けにつなげられないもどかしさに日頃のあり方を問われた」との声があったそうです。



被災住民、被災地社協からの教訓を活かし、いざというときに備えていきたいと思えます。

「防災」と「社協」…なかなか結びつかないと思えますが、災害時において社協には「ネットワークを活かした支援体制」、「当事者の地域での暮らしを支える」、「被災地域主体のまちづくり活動を支援」の3つの役割があります。

「住民主体」の地域福祉活動を展開する社協だからこそ、緊急時・災害時における役割があることを意識して、地域づくりに取り組んでまいります。



私たちと一緒に 健康づくりの輪を広げませんか？

私たち山形村食生活改善推進協議会（食改、ヘルスメイトとも呼ばれています）は、“わたしたちの健康は、わたしたちの手で”をスローガンに、昭和59年から活動しているボランティアグループです。

私たちは定期的な研修会や調理実習・運動などを通して、健康づくりに関する実践的な知識を深めています。そして、まず自分が健康的な生活習慣の実践者となり、そのうえで身近な方々にも『食』を中心とした健康づくりの輪を広げていく活動をしています。

また、施設の視察や相互の親睦を深める活動も会員の意向により行っています。ぜひ、私たちの仲間になって活動してください。

私たちの活動 あれこれ

★やしょうま作り

毎年、やしょうまを作りピアやまがたへ訪問しています。年に1度ですが、入所者の皆さんにも喜ばれています。

★きましょ講座

地域の集会所などに出かけて、健康づくりのための料理講習をしています。地域の皆さんとの交流も、楽しみの1つです。

★子どもの料理教室

食の大切さや地域の食文化を伝えるため、小学生対象の料理教室・乳幼児教室でのまゆ玉作り講習をしています。子ども達の笑顔は、元気の源。

★私たちの仲間は、県内に5,000人以上、全国に20万人以上が活躍しています。



多くの皆さんの入会を、心よりお待ちしております！

くわしくは、事務局（保健福祉課 管理栄養士 中原）までお問い合わせください。
保健福祉センター内保健福祉課 保健対策係
☎97-2100 FAX97-2101

山形村食生活改善推進協議会

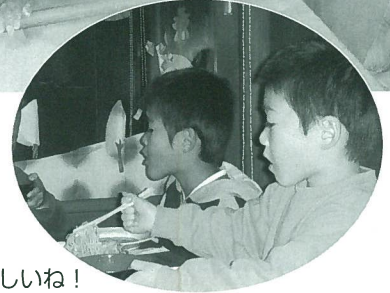
建部の里でそば打ち“収穫祭”

11月27日、建部の里でそば打ちが行われました。使われたそば粉は、11月に建部の里で収穫されたものです。

生きがいデイサービス利用者、やまのこ保育園、建部の里利用者、いきいきサロン・コスモス会、ぽぽねっと企画（社会福祉協議会とともに活動している住民組織）の皆さんにお集まりいただき、そば打ちの様子を見学したり、一緒に食事作りをしました。

そば打ちの様子を見学していた園児たちは、リズムよく鳴り響くそば打ちの音に耳を傾けながら、興味深そうに見入っていました。

打ち上がったおそばを食べた皆さんは、口々に「おいしかった」と満足された様子。そば打ちをしてくださったお一人、簗町健さんは「今年のそばは、できがよい」と話されていました。



おそば、おいしいね！

平成19年度

地域ふれあい交流事業

行って
きました!

「ふれあいの旅」



山形村社会福祉協議会では、今年度も地域ふれあい交流事業として「ふれあいの旅」を企画しました。ふれあいの旅は村内在住の身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方などにご案内している旅行です。

第1回は8月12日、親子やお仲間に参加されたみなさんにスタッフを含めた約30名で、茅野市にある白樺リゾートへ行きました。白樺リゾート内には世界の影絵・きり絵・ガラス・オルゴール美術館、池の平温泉施設、ファミリーランドなどがあり、作品を鑑賞したり、様々な温泉でゆっくりと過ごしたり、遊園地でカヌーやゴーカートなどの乗り物に乗り、楽しみました。

その中でも好評だったのが昼食時のバイキング。テーブルに並べられたたくさんの料理を美味しく食べながらの宴会となりました。食事のあとにはやっぱりカラオケ! 年齢・男女に関係なく時間を忘れて盛り上がりました。

第2回目は10月31日、11月1日に1泊2日でやいづ黒潮温泉(静岡県)に行きました。静岡といえば、こころを癒してくれるような景色や、歴史ある観光名所として有名な場所がたくさんあります。

まず向かった先は江戸情緒たっぷりの「すんぷ夢ひろば」。施設内には静岡とゆかりのある徳川家康ミュージアムがあり、本物そっくり?な蠟人形で徳川家康の生涯を再現してあります。施設の方が親切に説明をしてくださり、歴史が苦手な方でも楽しく学ぶことができました。美味しく昼食を食べた後は施設内を散策したり、お店でおみやげを探したり、メインスポットである足湯に入って過ごしました。こころも身体もほっかぽかになりました。

その後は日本平ロープウェイに乗って空中遊覧と、久能山東照宮の参拝、翌日はお茶の時間を楽しむなど、普段では味わうことのできない体験をしました。



「ふれあい寄席」の開催

—地域ふれあい交流イベント開催について—

山形村社会福祉協議会は、本年度の事業計画の中で「ふれあい交流イベント」等を企画し、地域づくり・福祉づくり・健康づくり・そして生きがいづくりを目指した住民主役の地域福祉活動を進めることとしています。

地区ごとの活動では「いきいきサロン」参加者をはじめ、地域住民のみなさんを招待して「ふれあい寄席」を開催。各地区のボランティアや公民館分館と協働して企画しました。

7月には上大池コミュニティセンターを会場に、11月には保健福祉センターを会場に「ふれあい寄席」を開催しました。ご出演いただいたのは、古今亭菊生師匠と前座の三遊亭たん丈さん。ご参加いただいた多くの皆さんに楽しんでいただくことができました。

この「ふれあい寄席」は、他の地区でも開催の希望があり、公民館分館等と協議・たん丈さん(牛ほめ) 計画中です。ぜひご期待ください。



菊生師匠(粗忽の釘)



ちょこっと早い

さあ、大人も楽しくクリスマス!



12月になるとどこからともなくクリスマスソングが流れ、クラシック音楽や聖歌隊の清らかな歌声にこころ癒されることがあります。子どもはクリスマスに向けて心躍る季節ですが、大人もクリスマスを楽しみ過ごそうと、恒例のクリスマス会が開催されました。

12/11 建部の里 12/14 いちいの里 でアカペラ!!

村内のアカペラグループ「むかご〜ず」の皆さんは、クリスマスにちなんでサンタやトナカイの衣装で登場し、デイサービスセンターいちいの里と建部の里の2カ所で美しい歌声を披露してくださいました。歌ってくださったのはクリスマスソング「ジングルベル」、「きよしこの夜」のほか、「銀座カンカン娘」や「上を向いて歩こう」など昭和の名曲で美しく響く歌声に聴き入っていました。アカペラが初めてという方、その美声に涙を流して聴いている方、楽器をもってリズムをとっている方などなど……。普段と違う雰囲気の中で楽しく時間を過ごすことができました。



12/18~20

デイサービスセンターいちいの里 クリスマス会

デイサービスセンターいちいの里では、アカペラコンサート以外にも、村外から来ていただいた皆さんによるコンサート、ピアノの弾き語り、詩吟・剣舞などを鑑賞しました。大勢の方がつどい、楽しく心地よいひとときを過ごすことができました。

暁岳流日本吟道館の皆さんは、詩吟・剣舞を披露。歴史や漢詩に詳しくない方にも分かりやすい内容となっており、吟詠に合わせた力強い剣舞を利用者の皆さんは真剣な表情で鑑賞されていました。兵藤真美さんのピアノの弾き語りでは、「涙そうそう」や、今年大ヒットした「千の風になって」が歌われ、兵藤真彩さんのアルパ演奏も加わって、童謡唱歌を一緒に歌いました。桔梗ヶ原音楽隊コンサートでは、ギターとの弾き語りを聴きました。

少し早いクリスマスでしたが、日常ではなかなか味わえないぜいたくな時間を皆さんと共有できました。





訪問介護員養成研修の受け入れ

12月14日、塩尻志学館高等学校3年の高畠木綿子さんが、ホームヘルプステーションいちいの里で訪問介護員養成研修の実習を履習しました。

高畠さんは、ヘルパーさんに同行して利用者のお宅にお伺いするといった、現場体験を含む研修の1日を過ごしました。

高校卒業後は、福祉の仕事に就きたいという高畠さん。笑顔が素敵な彼女は、きっと皆さんに愛される社会人になることでしょう。元気でがんばってくださいね。



ホームヘルプステーションいちいの里での実習を振り返って

長野県塩尻志学館高等学校 3年 高畠木綿子



同行訪問という形で高齢者の方と接するのは初めてでした。やはり人それぞれに性格や状況が異なるので、その方に合わせた接し方や対応が大切だと感じました。ヘルパーの仕事は、利用者さんの気持ちを汲み取ることが一番だと教わったので、その事を忘れずにこれからも福祉の勉強を頑張っていきたいと思います。



こいっしょに、生きがいデイサービス

山形村保健福祉センターでは、趣味活動、レクリエーション、軽スポーツ、季節行事など、生きがい活動の場として通所によるデイサービスを実施しています。最近の活動では11月に干し柿づくりを、12月には絵手紙を作りました。

干し柿づくりには、村内で収穫された柿を使い、参加者とスタッフで協力し合って柿の皮むきをしました。女性ばかりでなく男性も慣れた手つきで取り組んでおり、世間話をしながら和気あいあいとした雰囲気のなかで楽しく干し柿づくりができました。参加者の方が「柿の皮は漬け物に入れると甘みがでるよ」と教えてくださる場面もあって、スタッフにとっても、良い勉強の機会になりました。美味しい干し柿ができるといいですね。

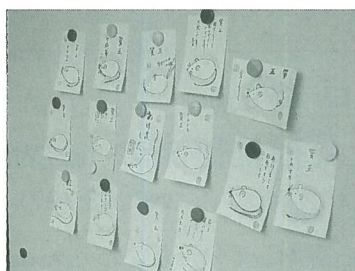
絵手紙づくりでは、講師に住吉すみさんを迎え、指導していただきました。題材に選んだのは、来年の干支「子(ねずみ)」。参加者の皆さんは、世界に1枚だけのオリジナル年賀状づくりに取り組みました。

まずはねずみの形をした型紙をサインペンでなぞり、目・鼻・耳をつけます。皆さんの表情は真剣そのもの。思わず手もふるえてしまいます。

耳を淡いピンク色で塗り、まわりに黄色を塗って完成。それぞれに味のある作品ができあがり、中には2枚目に挑戦する方もいました。

最近は印刷された葉書を出すことが多いと思いますが、手づくりの絵手紙からはその人らしさが伝わってきます。いいものですね。

今後も生きがいデイサービスでは、季節に応じた行事や活動を予定しています。お楽しみに！



災害時の福祉救援と共助活動

近年の日本列島は、「災害は忘れた頃にやってくる」というよりも「忘れる間もなくやってくる」と言った方が的を射ているような状況が続いています。そんな中、「防災」ということについて、官民をあげて諸般の取り組みが進められています。

山形村でも、各地区には自主防災組織が編成され、地域課題としての住民意識も高まりつつあります。また、社会福祉協議会としても、災害時の被災者支援のための日頃の防災活動の取り組みから、支え合い・助け合いの地域づくり・福祉づくりの活動へと展開させていく方針のもと、諸活動を展開しています。活動マニュアルづくりの取り組み、社協関係者の学習会の開催や福祉のつどいのテーマに掲げ、企画をしています。

「防災」ということについて、行政などの「公助」の視点からの活動はもとより、更には住民や民間組織などの「自助」「互助」「共助」の視点に立った活動を活性化させることにより、支え合い・助け合いの輪が一層広がっていくことを期待しています。

今後共に、災害時の福祉救援やボランティアの諸活動について、住民の皆さんと一っしょに創造し、推進して行きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

山形村社会福祉協議会／地域福祉事業部

開催せまる!

みんなで参加、家族で楽しむ
山形村福祉のつどい

2008年2月16日(土) 保健福祉センターいちいの里にて
福祉活動功労者・福祉活動協力者の表彰
福祉のつどいのテーマは「災害時の福祉救援と共助活動」
レクリエーション・軽スポーツコーナーにはファミリーで挑戦しましょう!

ボランティア募集の
お知らせ

あなたも、はじめませんか。

デイサービスセンターいちいの里では、次のような活動をしていただけるボランティアさんを募集しています。

- 手芸などをお年寄りに教えていただける方
- 演奏や歌唱を披露していただける方(ピアノ、ハーモニカ、アカペラなど)
- お年寄りと一緒にお茶を飲みながら話をしていただける方
- レクリエーションや体操、軽スポーツに参加して一緒に楽しく過ごしていただける方
(ペタンク、ビリヤード、スカットボールなど、最近人気のスポーツで楽しんでみませんか)
- その他、デイサービスの日中生活の身近なお手伝いをしていただける方



場 所：デイサービスセンターいちいの里

時間帯：手芸・演奏・シーツ交換・整容介助などは月曜日から金曜日の9:30～11:30までの間でご都合のよい時間帯
レクリエーション・軽スポーツなどは月曜日から金曜日の14:00～15:00までの間でご都合のよい時間帯

問い合わせ デイサービスセンターいちいの里 ☎97-2102

担当：田口・成田・上條まで

まほろば (社協広報/第38号) 平成19年12月27日発行

●発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会 (山形村保健福祉センターいちいの里内)
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108



*社協広報「まほろば」は、皆さんから寄附していただいた
共同募金配分金を財源にして発行しています。



この印刷物は大豆油インクおよび
古紙配合率100%再生紙を使用しています。